

第307号

HYOGOニュース

公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会
〒651-0085 神戸市中央区八幡通4-1-38
TEL 078-271-0255 FAX 078-271-0256
E-mail info@hamt.or.jp

編集委員
鳥居良貴 / 増井 裕 / 市丸加奈子 / 石野瑠璃
小松敏也 / 松田武史 / 真田浩一 / 藤本宏巳

臨床検査情報センター
URL <http://www.hamt.or.jp>

今
月
号
の
内
容

- 第22回兵庫県医学検査学会 開催 1
- 《各部局報告》・功労賞を受賞して・学術奨励賞を受賞して 2~3
- 《行事予定表》 4~5
- 瑞宝単光章を受賞して・《賛助会員コラム》・《求人情報》 6~7

第22回兵庫県医学検査学会 開催



学術奨励賞受賞の
上霜会員

今年度の県学会は、6月28日丹波の森公苑（丹波市柏原町）に於いて、第36回但丹地区研修会との合同で開催されました。当会では昨年度は第54回日臨技近畿支部医学検査学会（第57回日本臨床検査医学会近畿支部総会と第34回日本衛生検査所協会近畿支部学術研究発表会と同時開催）、来年度は第65回日本医学検査学会（第32回世界医学検査学：IFBLS 2016、第63回日本臨床検査医学会学術集会、第11回日本臨床検査学教育学会学術大会と同時開催）を担当することになり、その間の県学会となりました。

大勢の参加者（88名）に集まっていたいただき、8演題が発表されるなか、大いに意見交換が行われました。疑問に思える事や新しい知見を得るだけでなく、日頃より交流の少ない施設や技師同士の知識や技術などの情報を共有し合い、また議論することにより知識や技術レベルを向上させる絶好の機会になったと思います。そして将来大きく伸びていく新人技師や学生の方々にとっても医療の現場など学ぶことが多かったと思います。

研究発表会に続いて表彰式典が催され、学術奨励賞を受賞された上霜剛会員（県立柏原病院）による記念講演が行われました。まずご自身の紹介をされたあと、今までの兵臨技での微生物研究班活動を中心に、臨床微生物検査について解説されました。特に、患者さんから直接いただいた感謝の一言が、臨床検査技師としてのその後の行き方を大きく変えたエピソードには胸が熱くなりました。受賞に相応しい貴重な講演をしていただきました。今後ますますご活躍されますことを祈念いたします。

その後昼食をとりながら、但丹地区施設責任者・連絡会議が開催されました。検体測定室、検体採取、検査説明を始めとする日臨技の活動内容や兵臨技の精度管理調査などについて活発な意見交換がなされました。



各局局報告

組 織

第33回西播地区研究発表会に参加して



西庵先生



東先生

藤本 宏巳 (姫路聖マリア病院)

今年も各施設から興味深い発表があり、刺激を受けることができました。また今年は発表だけではなく5年程前まで行われていた分科会が復活し、各分野の担当者による活発な意見交換が行われました。私も以前から悩んでいた血小板増多による偽

性高K血症疑いの外来患者様の採血依頼方法について他院の対応を聞くことができ、非常に有意義な時間となりました。市民公開講座では多数の市民の方も参加され、西庵利彦先生 (にしあんクリニック内科外科院長) の『タバコが身体に与える影響と禁煙について』と東正子先生 (姫路市医師会) の『肺がん検診を知ろう！～検査の大切さ～』をテーマとした講演に耳を傾けておられました。

今回の発表会で新しい知識を学べた事はもちろんですが、他の施設の方々との交流から生まれる新たな発見は今後の業務で大いに役立つと感じました。



分科会

功労賞を受賞して

余根田 和弘 (公立八鹿病院)

この度は、兵庫県臨床検査技師会功労賞をいただきまして、誠にありがとうございます。

この賞は私には過分な賞だと思い受賞を躊躇しておりましたが、皆様方の温かいお気持ちに背中を押していただき謹んで受けさせていただきました。

思い返しますと、平成8年より丹但地区で病理細胞検査研究班班員として各病院の技師の方々にお世話になりながら勉強会を開催しました。症例発表や難しい症例の持ち込みがあり大変勉強になりました。また平成14年からは施設連絡委員や地区委員として一泊研修会や地区研修会でお手伝いをさせていただきました。研修会で習得した知識はもちろんのこと、一泊研修会の中では多くの方々と話しさせていただき、病院間の垣根を越えた会員同士の繋がりが大切なことを教えていただきました。

この度のことを含めこれまでのご厚情について、会長、役員理事の方、事務局の方、地区の方等々に心より感謝申し上げます。今後も兵庫県臨床検査技師会の益々の発展を心より祈念いたします。本当にありがとうございました。



功労賞を受賞して

山本 繁秀（姫路赤十字病院）

この度は、兵庫県臨床検査技師会（兵臨技）より功労賞、並びに公益財団法人兵庫県健康財団より会長表彰をいただき、誠にありがとうございます。本受賞につきまして、検査技師会の皆様、とくに西播地区の皆様には推薦を賜り心から感謝申し上げます。

私は1981年に社団法人兵庫県臨床衛生検査技師会に入会し、1984年より病理細胞検査研究班員として活動してまいりました。その間、法改定とともに兵庫県臨床検査技師会となり現在、公益社団法人に移行しています。

時は流れ、名称が変わっても兵臨技の本来の目的である、学術・技術の向上をめざし臨床検査技師を育成することと、県民の健康増進や疾病予防の啓蒙や活動など地域医療に貢献する伝統は受け継がれています。今回の受賞で私自身、諸先輩から受け継いだ兵臨技のこの伝統を大切に、自己研鑽を忘れず後進の育成のための地区の技師会活動につきましてさらに努力していきたいと思います。

この度は本当にありがとうございました。



学術奨励賞を受賞して

上霜 剛（兵庫県立柏原病院）

この度は、兵庫県臨床検査技師会の学術奨励賞をいただき誠に有難うございます。ご推薦いただきました方々を始め、会員の皆様方に深く感謝申し上げます。

私は平成8年から平成16年まで微生物検査研究班班員、平成22年から平成26年まで班員と副班長を務めさせていただきました。この間に社会では、私の技師会活動のきっかけとなった腸管出血性大腸菌0157の集団発生に始まり、多剤耐性緑膿菌などの薬剤耐性菌や新型インフルエンザ、MERSなど新たな病原体が次々と出現し、微生物検査室は常にその対応が求められてきました。また近年はグラム染色の重要性が認識され、研修医を中心とした医師や微生物検査を行っていない検査室でも多く実施されるようになりました。そのように微生物検査に対する関心と期待が高まるなか、研究班では多くのニーズに応えるべく、毎月基礎から最新の知識まで幅広い様々なテーマで研修会を開催しています。会場は毎回満席になるほどの盛況ぶりです。私はスタッフの一員としていつも特等席から聴講することができ大変感謝しております。また、毎年実施している新人研修会では、募集後すぐに定員が一杯になるほどの人気で、私が携わった20年間で約400人の皆様と知り合う事が出来ました。私にとってこの「つながり」が一番の財産です。

今回の受賞は私だけでなく支えて下さった皆様と共にいただいたものと思っています。皆様に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



瑞宝単光章を受賞して



岡治 義彦 会員（元兵庫県臨床検査技師会組織部長）

戦前戦中戦後を生きてきた私にとりまして今回の受賞は感無量であります。青春真っ只中に当時死亡率第1位の結核を発病し、数年の自宅療養後アフターケアの兵庫職業訓練校で臨床検査を学び、卒後神大病院臨床検査部で「仕事と遊び」の基礎を徹底的に叩き込まれましたことが、今の私の人生の原点だと思います。

神大病院時代、大先輩と一緒に第1回目の国家試験を受験し、次いで加古川市民病院の中検を立ち上げる幸運に恵まれました。

以後、コレステロールではありませんが、善玉、悪玉の良き人脈に恵まれ「よく学び、よく遊び、よく働き」ました。もし、小生に功績があったとするならば、その良き人脈のお蔭に他なりません。在職中、小生の个性的かつ強烈な主義に、ご協力いただいたスタッフに、この場をかりて感謝いたします。

医療の世界で働いて、今私なりに感じていることを率直に言わせていただくなれば、「医学は殆んど進歩しなかった・・・進歩したのは医用電子工学」と考えています。

結核が死亡率1位から谷底に転落して以来のワースト3は変わったのでしょうか。ストレプトマイシン発見というクリーンヒットは細菌培養という「現場」が飛ばしました。次にがん細胞に対する決定打は誰が打つのでしょうか？

リタイアを機会に、方向を180°転換して、社交ダンスの世界でプロとして仕事をすることにしました。このときの退職金は見事にダンス教室の建築費に消えました。今、思うとこうして、この道を選んだからこそ、陛下と同年の小生が今も健康で過せるのだとつくづく思います。

この機会に、若い技師会の会員のみなさんに余計な一言。

現役引退のとき殆んどの方は、自分の健康不安などのため貯蓄するのですが、私の在職三十数年間の経験からして、健康保険で治らない病気が、お金があったがために治ったという事例を一例も知りません。

お金は自分に投資する。これこそ文字通り先手必勝の秘訣ではないでしょうか？

最後になりましたが、このような小生をご推薦いただきました富永元会長に深謝いたします。また県庁の職員の方々、兵庫県臨床検査技師会事務局のみなさん、大変お世話になり、ありがとうございました。

今、振り返ってみますと、歴代の会長、役員、会員の並々ならぬ努力と情熱が今の兵庫臨技を築き上げてきました。この古き良き伝統を大切にバトンタッチされたばかりです。今後益々のこの会の発展と、貴重な紙面をいただきました中町会長はじめ役員、会員のみなさんに感謝して筆を置きます。

賛助会員

コラム [40]



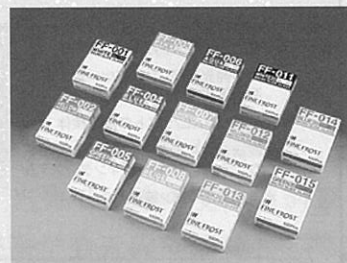
松浪硝子工業株式会社

松浪硝子工業(株)

田中 匡 (ライフサイエンス営業本部)

今月のコラムは松浪硝子工業株式会社 田中 匡が担当させていただきます。

松浪硝子は1844年(弘化元年)に創業し、当時は薄玻璃を素材に合わせ鏡を作ったのを起源としています。明治10年には第1回内国勸業博覧会に玻璃鏡(はりきょう ガラスを用いた鏡)を出展し、内務卿従三位大久保利通より花紋賞牌を授与されました。そして明治37年に顕微鏡用カバーグラス、翌38年には顕微鏡用スライドグラスを国内メーカーとして初めて製造しました。その後ファインガラスの総合メーカーとして医療分野においては、カバーグラス、スライドグラスの国内トップメーカーとしての地位を確立し、更に理化学・バイオ分野へも活躍の場を広げるなど、世界の医療革新に貢献してまいりました。



また長年臨床検査関連製品を製造販売する中で培った経験と技術を生かし、近年は病理細胞診検査支援システム「PathWindow」や、スライドグラス印字装置「ファインフロストプリンタミニ」、包埋カセット印字装置「パスカセットハンディプリンタ」といった製品も発売し、煩雑であった病理検査を効率的に行えるような製品開発を進めてきました。



これから松浪硝子は、長い歴史の中で育まれたノウハウをより一層深めつつ、斬新なアイデアを積極的に取り入れ、皆様と共に歩んでいきたいと願っております。

これから松浪硝子は、長い歴史の中で育まれたノウハウをより一層深めつつ、斬新なアイデアを積極的に取り入れ、皆様と共に歩んでいきたいと願っております。

求人情報

*詳細は求人先に各自お問い合わせください。

●健康保険組合連合会 大阪中央病院

交通: JR大阪駅下車 徒歩約7分

採用条件: 非常勤

業務内容: 健診センターでの生理検査全般

連絡先: 06-4795-5546 (総務課人事係)

●(医)仁寿会 石川病院

交通: JRひめじ別所駅下車 徒歩2分

採用条件: 正社員

業務内容: 検査全般、超音波・内視鏡検査

連絡先: 079-252-5235 (総務課 大町)

●顕修会 すずらん病院

交通: 神戸電鉄西鈴蘭台駅下車 徒歩3分

採用条件: 正社員

業務内容: 生理検査、検体検査

連絡先: 078-591-6776

(総務課 吉田・西村)